

あかるい希望

必笑～勝っても負けても笑える楽しい運動会に～



五月晴れの空の下、5月30日（土）、今年度の運動会が行われました。

開会式の中で、赤白共に練習してきた応援を披露し、お互いにエールを送り合いました。

そしてスタートした各競技。前半は、赤組の優勢でした。練習の中では、なかなか勝つことができなかった赤組。ちょっと気持ちが凹んでしまう場面もありましたが、高学年生を中心に声を掛け合いながら粘り強く練習していました。

た。その思いが通じたのか、綱引きやブロックの競争競技で得点を積み上げました。

このまま赤が勢いをつけて得点を引き離すか、と思われた後半、白組の粘り強さが出てきました。集合し、高学年から出される言葉は、「まだいけるよ。」「これからこれから。」という励ましの言葉。それに続いて、下級生からも「あきらめちゃだめだよ。」という掛け声。児童会種目の「ハッピーパス&ターゲット」や3年生以上の「リレー」で白の底力を見せてくれました。

伝統の「ソーラン」も低学年、高学年とも迫力のある、またキレのある踊りでした。

最初に披露したのは低学年。「よっちょれソーラン2026」です。「よっちょれ」とは、高知（土佐）の言葉で「そこをどけ」「脇に寄っていなさい」という意味です。これから私たちが踊るから、道を開けて見ていてよ、という意味があります。子どもたちは、その意味の通り、これまで練習してきた踊りをダイナミックに披露してくれました。



高学年生は、「ソーランW2026」です。よさこい鳴子踊りとソーラン節を合わせたアップテンポの曲は、高学年らしくよりキレのあるダンスの要素が強まります。そして、その中にもニシン漁を表現したソーランの踊りの要素が入ります。一人一人の動きが全体の動きにつながり、最後の決めのポーズまで迫力の踊りとなりました。

今年の運動会は、初めての試みとして、保護者の皆様や教職員の参加による「大人の綱引き」を行いました。各学年のお便り等でお知らせしていたとはいえ、参加者が少なかつたらどうしよう、と少々不安を感じていましたが、そんな心配は全く無用でした。40名以上の参加者が集まり、本格的な綱引きの競技になりました。3試合行い、勝ち負け関係なく本当に汗だくになり、また本気（マジ）になる時間となりました。競技の楽しさを改めて感じたところです。

閉会式では、各色リーダーから感想が述べられました。「楽しい一日になりました」「皆さんをリードできてよかったです」「負けちゃったけど、このチームでみんなと一緒にできて本当に良かったです」「もう一度みんなでめあてを言いましょう」など、これまでの練習への思い、下級生への思いが込められた素晴らしいあいさつでした。

その後、各色組のテントに分かれての振り返りの時間。どちらのテントからも、さっきより大きな色組のめあてが響いてきました。子どもたち一人ひとりの成長を感じた時間でした。

PTA役員の皆様をはじめ、保護者の皆様には、準備や当日の片付け、本当にありがとうございました。今後も本校の教育活動へのご理解とご協力をお願いします。